

るパソコン教室や担任以外の教員を活用した小中学校全学年での35人以下学級の暫定的な実施は、教室の密度を下げ感染リスクを軽減させるための一つの対応策と考えられ、その実現性や課題について早急に整理してまいりたいと考えております。



平尾保育園

2階建ての木造園舎。子どもたちが触れる所は、可能な限り木材が使用されています。



コロナ禍における 避難所運営について

Q 〈平畑〉災害が発生した場合、小学校や公民館が避難所に指定されていますが、新型コロナウイルス感染リスクがある中で、3密を避けなければならなくなってきています。このような中での避難所運営について、市の防災を担う市民局は具体的にどのように考えているのかお尋ねします。

A 〈下川市民局長〉避難所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成し、各避難所の運営を行う区役所と共有し、災害時には適切に対応できるよう取り組んでいるところでございます。

具体的な対応としましては、公民館に加え、学校施設等も早期に開設するなど、より多くの避難所を確保することとしております。

また避難所においては、間仕切りや養生テープでゾーニングするなど、避難者間のスペースを十分に確保するとともに、こまめな換気を行うこととしております。さらに、マスクの着用や手洗い・消毒を徹底するなど、避難所における感染症対策に取り組んでまいります。

Q 〈平畑〉市の職員の場合は交代が来るようになるのは当たり前ですが、地域の避難所は基本地域の方が居て運営ができていますので、もう一步踏み込んで地域との協議をしっかりとさせていただく様に要望しておきたいと思えます。

災害が発生した場合、被災地の声を聞くと、必ず電気・水道が使用できずトイレに困ったとの声を聞きます。もちろん水や食料・毛布など備蓄しているのはわかりますが、食事は我慢できてもトイレは我慢できるものではありません。

被災地におけるトイレ状況について、どのような状況だったのか本市が把握していればお示しください。

A 〈市民局〉災害時のトイレにつきましては、平成28年4月に国が作成した「避難所におけるトイレの確保管理ガイドライン」によりますと、東日本大震災等において、避難者数に対してトイレが不足したために、トイレの衛生状態が劣悪になったこと、またトイレの使用を減らすために水分や食事を控えることとなり、被災者の心身の機能の低下や様々な疾患の発生、並びに悪化が見られたことが報告されております。

Q 〈平畑〉福岡市の場合はどう対応するようになっているのかお尋ねします。

A 〈市民局〉災害時のトイレの確保につきましては、断水等により施設のトイレが使用出来ない